

令和元年度 奈良県立五條高等学校（定時制）学校評価総括表 （その1）

学校経営方針	<p>「行きたい」「行かせたい」「来てよかった」と 思える魅力ある学校づくり ～「夢」「希望」そして「挑戦」～</p>	<p>将来の目標を見据えて、常に高い志をもって行動できる生徒の育成に重点を置く。そのために、生徒自らが 様々な教育活動に主体的に取り組む、生徒が「行きたい」と思える学校、保護者が「行かせたい」と思える学校、 そして両者が「来てよかった」と思える魅力ある学校づくりを目指す。さらに、「夢」「希望」そして「挑戦」 をキーワードに、生徒各自が自立し、社会のよき構成員となることができる生徒像を求め、熱意・誠意・創意 のある組織的な教育活動を実践する。</p>	総合評価
			B

前年度の成果と課題 →本年度の重点目標	<p>1 【魅力ある進路実現】 進路実現に向けた指導の結果、一定の成果を挙げているものの、更に魅力ある進路実現を目指し、根本的なキャリア教育的視点をもち、人生設計をサポートしていく広範な進路指導の展開を通して、「来てよかった」と思える魅力ある学校づくりを目指す必要がある。そのため、学習活動において、一層の基礎学力の浸透とそれに伴う人間力（生きる力、活用する力）の向上を計るべく、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を行う必要がある。また、学校を社会体験の訓練場と捉え、インターンシップ等の職業的体験学習の積極的な導入によって自己有用感の醸成を図るなど、進路保障に関わる取組の一層の充実を図り、魅力ある進路実現の達成を目指す</p>
	<p>2 【充実した学校生活】 学校行事の充実と仲間づくりを柱として、魅力ある学校生活を送れるよう取組んできているが、学校行事の精選と内容の一層の充実を図るとともに、様々な背景をもつ生徒同士が一体となって課題に取り組むことを通して、「来てよかった」と思える学校づくりを目指す必要がある。そのため、全日制や他の教育機関との連携、並びに、コミュニティ・スクールとしての特長を活かした地域との協働を一層推進するよう、奈良TIMEや学校行事等の再検討・精選を行う必要がある。</p>
	<p>3 【安心して通える（通わせる）ことができる学校づくり】 「行きたい」「行かせたい」と思える学校づくりを目指し、きめ細やかな生徒への対応と生徒指導の充実を一層図るとともに、日頃から生徒及び保護者との豊かな関わりを構築する。 →安心して通える（通わせる）ことができる学校づくりを目指す</p>

本年度の重点目標 具体的目標・主な具体的方策	評価の指標（担当）等	評価数値（目標）			自己評価	成果と課題	改善方策等	学校関係者評価
		H29	H30	R元 目標				

1 魅力ある進路実現の達成を目指す								(※) 承認	
<p>○魅力ある進路実現への対応 (1) 進路保障に関わる取組の充実</p> <p>「来てよかった」と思える学校を目指し、コミュニティ・スクールとしての特性を活かしてキャリア教育を推進し、地域と共にある学校づくりを目指す。そのため、社会とのつながりの構築を重点に、奈良TIMEや学校行事の再検討・精選を行う。また、インターンシップ等の職業的体験学習を積極的に導入し、キャリア教育の充実を図る。</p>	→ 生徒アンケート 「進路指導は、一人一人の目標達成に役立つよう行われていますか」による進路指導効果度指数	83%	75%	85%	78%	B	<p>今年度の卒業生は男子1名、女子2名の計3名であるが、卒業後の進路としては女子1名が就職を希望するも就職先は未定であり、残りの2名はアルバイトを希望している。それぞれ将来への自立意識が低く、そのため自らの進路に対して主体的、意欲的に考えようとしな。今後、いかにしてそういった生徒たちに卒業後の進路に対する意識をもたせるかが課題である。</p>	<p>例年1学期と2学期に行っている年間2回の進路ホームルームを通じて卒業予定生徒だけでなく、全生徒に対して卒業後の自立への意識付けを行うとともに、ハローワークとの連携や全日制的進路指導部からの情報提供などの協力を得、できるだけ充実したそれぞれの生徒の進路実現を目指したい。</p>	
	→ 全日制や地域との連携・協働回数（行事及び授業等）【生徒指導部・教務部】	0回	7回	3回	4回				
	→ スクールカウンセラーとの面談回数（生徒及び教職員）【生徒指導部・人権教育部】	0回	10回	10回	10回				
	→ 進路実現率（進路実現数÷進路希望者数）【進路指導部】	100%	なし	100%	なし				
	→ インターンシップ参加延べ人数【教務部・進路指導部】	—	5人	10人	0人				
	→ 生徒アンケート 「多くの授業は、内容が充実しており、満足のいくものですか」による授業満足度指数	86%	73%	90%	78%				
<p>(2) 分かる授業の実現(授業力向上) (3) 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善</p> <p>三・四修制のそれぞれ特性を活かし、魅力あるカリキュラムを編成するとともに、確かな学力の育成を目指し、授業において、「主体的・対話的で深い学び」に向かう改善等を行い、確かな学力の育成を目指す。また、観点別評価を踏まえた学習指導を行い、授業改善に役立てる。さらに、資格取得を支援するシステムの構築を目指す。</p>	→ 学力補充講座（夏期学力補充及び資格取得支援講座）参加延べ人数【教務部・進路指導部】	70人	51人	80人	26人	C	<p>生徒が少人数のため個々の生徒に応じた指導を行うことができた。また、郷土学習では、生徒たちが関心をもつような内容を工夫して事前学習を行いフィールドワークに臨んだが、参加率は目標に達しなかった。</p>	<p>生徒が興味関心をもち、主体的に学べるよう、各教科・科目で授業内容の見直しを行う。資格取得支援講座も生徒が主体的に取り組めるよう、生徒が希望する講座を開設する。</p>	
	→ 郷土学習（奈良TIME及び校外学習等）参加率【教務部】	79%	90%	80%	72%				
	→ 生徒アンケート 「先生は学習内容に関する質問に丁寧に応じてくれますか」による教員指導力度指数	86%	82%	90%	89%				
	→ 生徒アンケート 「学校行事は満足のできるものでしたか」による学校行事満足度指数	83%	75%	85%	73%				
2 充実した学校生活の構築を目指す	○学校行事の充実と仲間づくりの推進 (1) 学校行事の精選と内容の充実 (2) 定時制としての仲間づくりの推進	→ 生徒アンケート 「生活は全体的に満足できますか」による学校生活満足度指数	89%	75%	90%	78%	C	<p>生徒間の仲間づくりに重点を置き、学校が安心できる居場所となるように工夫した。</p>	<p>生徒同士の交流の場面を増やし、コミュニケーション能力向上の場を充実させる。</p>

<p>「来てよかった」と思える魅力ある定時制教育を構築する。 また、全日制や地域との連携強化を推進する。 さらに、本校定時制の魅力/materialを材料に、粘り強く地域にPRする。</p>	<p>→ 年間出席率（総出席日数／総授業日数） 2学期末まで</p>	86%	89%	90%	80%				
<p>3 安心して通える(通わせる)ことができる学校づくりを目指す</p>									
<p>○きめ細やかな生徒への対応と生徒指導の充実 (1) 日頃から生徒及び保護者との関わりを大切にする (2) 共通理解、同一歩調、全校体制で指導に当たる</p> <p>社会とのつながりを重視し、基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、教育相談体制の強化を図り、豊かな社会性及び自己有用感の醸成を行う。</p>	<p>→ 生徒アンケート「人権学習は、効果的に行われていますか」による人権意識向上度指数</p> <p>→ いじめ認知における解消率100%（いじめ認知件数が0件の場合は「なし」）【生徒指導部】</p> <p>→ ボランティア活動参加率【生徒指導部】</p>	85%	64%	90%	67%	B	<p>いじめアンケートや普段の学校生活の様子から、人間関係によるトラブル等はなかった。 昨年度と違い特別指導は皆無であったが、生徒の家庭環境の状況等で、県や市の福祉課等への相談回数は増えた。</p>	<p>生徒と教員のコミュニケーションを更に向上させ、毎日の声かけを行いながら、保護者との関わりを更に深め、学校と家庭の両面から生徒を指導していきたい。</p>	

※ **生徒アンケート** については、全て4件法で調査。4点（そう思う）、3点（概ねそう思う）、2点（概ねそう思わない）、1点（そう思わない）で指数を算出。
※ 評価基準について 達成率 66%以上…A、33%以上…B、16%以上…C、16%以下…D、未実行等…E

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価の指標等	自己評価	成果と課題	改善方策等	学校関係者評価
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活習慣と責任感の育成 保護者の理解と協力を得て、連携した指導の推進 規範意識と基本的な生活習慣の確立 基礎学力の充実。 進路目標の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶が習慣づくように、日々の生活の中での指導を行う。 授業を大切にする意識・態度並びに学校行事等への積極的な参加姿勢を育成する。 遅刻欠席をせず、授業を最大限に活用し、予習・復習等の家庭学習の習慣を身に付けさせる。 自らの興味・関心に基づき、適性を探り、進路についての考えを深め、進路目標をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート「生活は全体的に満足できますか」による学校生活満足度指数80%以上 出席率80%以上 	63% 80%	<p>B</p> <p>学年の出席率は、1月末までで80.1%である。夏休み前後、欠席が増えた時期もあったが、保護者との連携、協力により2学期後半には改善した。学校に行こうという意思もしっかりもつようになった。学習面や生活面はしっかりと取組んでいる。今後、進路目標をもてるよう指導したい。</p>	<p>来年度は「総合的な探求の時間」で、自己を見つめ、自己の将来を探求し、進路目標をもてるよう取組みたい。</p>	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活を送るための種々の規則を遵守する態度の育成 自他の人権を尊重する態度の育成 自主学習の定着化 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶が習慣づくように、日々の生活の中での徹底した指導を行う。 授業を大切にする意識・態度並びに学校行事等への一層の積極的な参加姿勢を育成する。 遅刻欠席をせず、授業を最大限に活用し、予習・復習等の家庭学習の習慣を十分に身に付けさせる。 自らの興味・関心に基づき、適性を探り、進路についての考えを深め、明確な進路目標をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート「生活は全体的に満足できますか」による学校生活満足度指数85%以上 出席率85%以上 	83% 86%	<p>B</p> <p>挨拶の励行は良好であった。 学校生活を大事にし、授業を大切にするという意識は十分にもち合わせており、出席率・授業参加率は良かったが、態度面には課題も残った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 知識として得た社会の基本的ルールやマナーを実践できるよう、日々の生活の中で指導していきたい。 高校生活最後の一年、もしくは高校生活後半の二年であるとの自覚を踏まえた上で、進路を見据えて、精神的な安定を得た主体的な行動がとれるよう指導していきたい。 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 学力の向上に主体的に取り組む姿勢の育成 学校行事などを通して、自主性、創造性等の育成並びに集団の一員としての自覚の醸成 勤労の尊さの理解並びに自身の在り方・生き方の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら希望する進路目標を達成する学力をつくらせる。 学校行事や生徒会活動等で、一人一人が役割と責任を果たし、集団の一員としての自覚のもとに積極的に取り組む姿勢を養う。 挨拶や言葉使いなど、場に合った会話ができるよう意識高揚に努める。 自己を見つめ、日々の充実を図るとともに、学校におけるリーダーとしての役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート「生活は全体的に満足できますか」による学校生活満足度指数95%以上 出席率90%以上 	82% 75%	<p>C</p> <p>普段の挨拶を重視し、学校行事に積極的に取り組み、最高学年の自覚が見られるようになってきた。 仲間づくりや各生徒のアルバイト、勤労体験が奏功し、日頃の挨拶や言葉使いなど、学校行事や生徒会活動等を通じ、生徒相互のコミュニケーションが活性化してきた。</p>	<p>コミュニケーション力や対人関係の中で求められる様々なスキルがまだまだ乏しい実態がある。短い高校生活で、それらの力やスキルを少しでも効果的に身に付けるために、学校行事や生徒会活動等への取組を、より一層充実させる工夫や指導が望まれる。</p>	
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> 社会の一員であることの自覚と最高学年に相応しい行動 進路目標の決定及び実現に向けての主体的な態度の育成 自主学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> TPOに応じた振る舞いができるようになる。 ハローワークや職場訪問などを通して自身の進路を明確にし、その実現に向けて主体的に取り組む。 卒業後の進路を見据えて、授業に能動的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート「生活は全体的に満足できますか」による学校生活満足度指数95%以上 出席率95%以上 		<p>4年生1名であったが、4月早々に退学。なんとか慰留に努めたが、残念ながら退学の意志は固かった。なんとか引き留める手だてが無かったのが課題である。</p>		